

その いずみの園だより vol. 68

2016.12.6

クリスマス号



それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは愛である。コリントの信徒への手紙 113:13

社会福祉法人 九州キリスト教社会福祉事業団
中津総合ケアセンターいずみの園

基本理念

神と人ともに仕えるキリスト教の愛と奉仕の精神を基本理念とする

①アメニティ(快適主義) ②ヒューマニティ(人間主義) ③ローカリティ(地域主義)

〒871-0162 大分県中津市永添 2744 TEL0979-23-1616 (代)
http://www.izuminosono.jp E-mail:sogocare@deluxe.ocn.ne.jp

Merry Christmas -心豊かに-



いずみの園のクリスマスツリーなど

「きよしの夜」



社会福祉法人
九州キリスト教社会福祉事業団

理事
廣安 慎太郎

クリスマスの季節となりました。この時期に良く歌われる讃美歌「きよしの夜」はどのようにして生まれたのでしょうか。1818年オーストリアのオーベルンドルフの聖ニコラス教会での出来事です。クリスマスの前日、ねずみのいたずらで、その村の教会のパイオルガンが鳴らなくなっていました。この知らせを聞いて、2人の若者がピンチに立たされました。教会のオルガニストのグループと若き司祭モールです。急遽、モールが作詞し、グループがギターの伴奏で作曲したのが「きよしの夜」でした。イヴの夜、こども達と共に歌ったのが最初です。

大切なクリスマスに、礼拝で使うオルガンが壊れたとしたら、普通だったら慌ててしまうことでしょう。危機的な状況の中で、二人は、素敵な讃美歌を生みだしました。

神様の愛と平安に包まれて、讃美が捧げられたと想像します。

198年経った今も、このクリスマスソングが世界中で歌われています。なぜ、このように広く、歌い継がれているのでしょうか。それは、民衆の愛、この歌への愛ゆえにです。

この讃美歌を歌うと、小さい頃のクリスマスの光景が浮かんでくることも、愛される理由の一つかもしれません。

九州キリスト教社会福祉事業団の諸施設は神様の愛、信仰から生まれました。利用者お一人一人に、平安と慰めが届けられること、世界中の人々に愛される施設として成長していくことを願っています。又温かい施設となりますように。

社会福祉法人の改革(改正社会福祉法)概要 —経営組織の見直し等について— 2017年4月1日施行

I 法律改正

2016年3月31日「社会福祉法等の一部を改正する法律」が成立し、同日公布されました。

II 改正に至った背景

〔社会保健審議会福祉部会報告書より抜粋(2015年2月)〕「社会福祉法人が今後とも福祉サービスの中心的な担い手としてあり続けるためには、その公益性・非営利性を徹底する観点から制度の在り方を見直し、国民に対する説明責任を果たすことが求められる。」との指摘を受けたものです。

III 法人制度改革の5つの柱(主な内容)

- (1) 経営組織のガバナンスの強化
 - ・ 議決機関としての評議員会の必置
 - ・ 理事会を業務執行の意思決定機関として位置付ける。
 - (2) 事業運営の透明性の向上
 - ・ 財務諸表・現況報告書・役員報酬基準等の公表に係る規定の整備
 - (3) 財務規律の強化
 - (4) 地域における公益的な取組の実施
 - (5) 行政の関与の在り方
- IV 施行日
2017年4月1日
- V 当法人としての対応
1. 2016年11月11日に厚生労働省より政省令、社会・援護局長通知及び社会福祉法人定款例等が示された。
 2. 社会福祉法改正及び諸通知を踏まえ、①定款の変更、②評議員・役員を選任方法の定め等について、評議員会と理事会(本年12月10日開催予定)の議決を経て所轄庁(大分県)に申請し、そ

の承認をもって、新評議員及び役員(理事・監事)の選出など改正社会福祉法で定められた事項について整備していく。

○以上が改革内容及び当法人の対応の概要ですが、この法人改革について法人の理念やサービスコンセプトに基づき、地域の福祉ニーズに応え、まちづくりの一翼を担う法人として介護保険、障がい(原)者サービス、子ども・子育て支援事業、生活困窮者への援助等各種事業を一層前に進めていくことができるよう430名の職員力を合わせて誠実に推進してまいります。

今後とも理事・監事・評議員の方を始め、行政各機関・地域の方々のご支援、ご協力をお願いする次第です。

(法人本部署務局)



『第6回法人内職員研修会』が、「いずみの園」で開催されました。



佐藤教授による講演の様子

本年度6回を数える社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団内の職員を対象とする『法人内職員研修会』が、10月22日(土)の午後、「いずみの園」内の「地域交流ホールいずみ館」で開催され、今年は49名の参加(うち社福・佐賀キリスト教事業団からも4名参加)がありました。

まず、理事長から「新たな時代の福祉の提供ビジョン」について考えるの講話があり、次に特別講演として佐藤晋治大分大学教育学部附属教育実践総合センター教授による「発達障がい臨床心理学の立場から」ー発達障がいと自閉スペクトラム症ーについて、分かりやすく説明いただきました。

その後、3保育園及び「いずみの園」から5名の実践報告があり、最後にチャップレンから閉会の言葉と「主の祈り」を祈り、定刻に散会しました。

職員の資質向上を目的にこの研修会を開催していますが、普段あまり顔を合わせることのない職員同士が一堂に会することにより、相互交流を行うこともこの研修会の大事な目的の一つとなっています。



研修を受ける法人内の職員

今後とも、当法人は地域と共に歩み、社会福祉法人としての本来の目的と理念のもと、より良い福祉サービスを提供するため、職員一同、学び・実践してまいります。

(法人本部署務局)

人事異動

2016年8月9日以降

- ① 異動役職者.....
- 9月1日付 坂田 宏子 中津市地域包括支援センター 主任
- ② 異動一般職.....
- 9月1日付 土岩 美幸 デイサービスふれんど館 作業療法士
 笠原ひとみ デイサービスふれんど館 看護師
 志摩 茜 中央サポートセンター 介護員
 千鳥 美樹 中央サポートセンター 介護員
 三原 美佳 介護課 介護員
 10月1日付 山中 順子 寄り合いセンターいずみ 介護員
 西来奈緒美 聖愛ホーム 介護員

- ③ 新採用.....
- 9月1日付 高倉 香織 ベテルハウス 介護員
 9月5日付 田中 沙織 デイサービスふれんど館 看護師
 9月20日付 江島多恵子 人材育成・研修センター 教務事務員
 9月23日付 真辺美由紀 介護課 介護員
 10月1日付 本庄 由佳 介護課 介護員
 11月1日付 高尾 明美 訪問介護課 ヘルパー
 11月21日付 吉岡 弘美 聖愛ホーム 栄養士

(以上2016年11月21日まで)

「子どもの居場所づくり事業」を開始しました

かぎせサポートセンター長 豊田 毅士

2016年9月23日から「ひとり親家庭の子どもの居場所づくり事業」が始まりました。ひとり親家庭の子ども達は一般的な家庭に比べ、就労などにより親のいない時間帯が長く、社会的孤立感や学習意欲の低下等により、大人になってからの家族形態や仕事、収入に影響がある場合があるといわれています。

今回それらの解消のために、大分県からの委託をうけ、中津市を含め県内3か所においてモデル事業として実施されています。

その概要は、「いずみの園かぎせサポートセンター」内にある「児童クラブピーター」の建物を利用し、水曜日と金曜日の18時〜21時の間、夕食の提供、学習支援を実施しています。初回は、登録した3名の児童を集合場所へ迎えに行き、職員、ボランティアの方と一緒に夕食を食べました。その後の学習の時間は、退職教職員の方々がボランティアで教えてくださり、最後に卓球やトランプ、紙飛行機作りなどを一緒に過ごしました。

事業は開始したばかりですが、誰もが安心して暮らせる中津市になるために皆様と協力して事業を行って参ります。



子どもの勉強を見守るボランティアの方々

「中津市孤立ゼロ訪問事業」を行っています。

在宅サービス事業部 地域支援センター長 伊藤 保幸

2016年4月より「中津市孤立ゼロ訪問事業」(市委託)が始まっています。この事業は、地域の中で介護や福祉サービス等の利用がなく、地域の中で孤立しがちな高齢者のお宅へ訪問し、見守りやサービス提供・社会参加に繋げることを目的としています。今年度は75歳以上の独居の方を対象に取り組んでいます。

はじめに、中津市と民生委員さんと話し合いを持って訪問対象者を絞り込んでいきました。その結果、担当校区(今津・大幡・如水)で172名の方を対象として訪問しています。

10月末現在、約25%調査が終了しています。閉じこもりになると、心身共に脆弱性が増していき、介護状態になる可能性もあります。ご自宅に伺うと、生活実態が把握でき、必要なアドバイスをさせていただく場合もあります。また、民生委員さんへも対象者の方の状況をお伝えして連携を図っています。

訪問して対象者の方の見守りを行い、社会参加につながるよう働きかけていきたいと思えます。



「子育て支援センターポール」出張広場開催

かぎせサポートセンター 児童サービス課 課長 今永 弘枝

9月15日(木)「子育て支援センターポール」の出張広場を、「イオンモール三光」で開催しました。30組の参加があり、0歳〜4歳のお子さん37名が、遊びに来てくれました。

「おはなし広場」と「おやこで工作」を行い、「おはなし広場」では、読み聞かせや手遊び歌、体を動かして親子でふれあいを楽しみました。「おやこで工作」は、紙コップを利用し、コロコロコロコロと転がるおもちゃ作りをしました。絵を描いたりシールを貼ったりして、出来上がった物は、実際に転がして遊んでみました。

たくさんの方に参加いただいたが、賑やかで可愛い笑顔が、あふれる時間を過ごすことができました。出張広場は、年2回の開催予定です。次回は、2017年1月に「親子でリズム遊び」を、予定しています。

「子育て支援センターポール」では、地域の子育て親の支援として、定期行事も開催しています。詳しくは、子育て支援センターポールのFacebookや、中津市のホームページ、「子育て親の集いの場」の紹介、「情報誌ほこあぼこ」から見る事ができます。遊びに来て下さいね。



「おはなし広場」の様子



「おやこで工作」の様子

いずみの園広場

ご利用者ご家族の声



いずみの園中央サポーターセンター

藤永利明さんのご家族 藤永 智様

父が「中津総合ケアセンターいずみの園」を利用して約6年になります。

76歳の時、脳梗塞になり身体の麻痺はなかったものの寝たきりの状態が続くようになりました。体を動かすように散歩をすすめてもトイレ以外は、ほとんど動きません。もともと難聴があり耳もとで、大きな声でゆっくり話をしないと伝わらず、人づきあいも苦手な父なので、ひきこもりがちになって足腰が弱ってしまいました。このままでは本当に寝たきりになってしまいかもしれない不安と、体が動けるのに動かない父に対してのストレスを、私も妻もかかえるようになりました。

「いずみの園中央サポーターセンター」を利用するようになり、最初は気が進まない様子の父でしたが、だんだんと前向きな気持ちを持ち持てた様子が見られるようになりました。妻から「スタッフの人が皆、お父さんにも私にも親切に接してくれ、ケアマネジャーさんは分からない事や不安な事など伝えると、きちんと説明してくれて本当に助かり、私にとって大きな存在。」と話してくれます。

明るくなった父が、よく孫に笑顔で話しかけたり、妻に「裕美さん、ありがとう」と声をかけているのを見ます。

わが家を支え、守り、優しく包み込んでくれている「いずみの園」の皆様には、本当に感謝しております。今後ともよろしくお願いいたします。



ご自宅でご家族と一緒に

ご利用者の声



いずみの園ヘルパーステーション

ご利用者 村上 美里様

「こんにちはー」といつもさわやかな声で我家を訪問してくださいる「いずみの園」のヘルパーさん。私は金曜日の午後がまちどおしく今日はKさんかな、それともSさん、Oさん!!と思いをめぐらして待っている現状です。

昨年12月末に腰部脊柱管狭窄症の手術を受けた後、足指のしびれ（副症状）がひどくなり何かと不安を感じている今日この頃、来訪していただいたヘルパーさんに近況を話しながら、出来る範囲で私も一緒に部屋掃除が出来るひとときをとても幸せだなあと思う昨今です。

独居老人の身の上では、ややもすれば、生活不活発病におちいりそうな危惧があるのですが、ヘルパーさんの来訪が刺戟剤となって、一人暮しの老人がなりがちなうつ病にもならずなんとか平穏に日々過ごす事が出来ることを心から感謝しております。

ヘルパーさんに心から御礼を申し上げ益々のご活躍をお祈りします。



出来るだけ手伝います

初めて

第1回『いずみの園ぐるっと見学会』を開催しました

11月26日(土)
10:00より、第1回『いずみの園ぐるっと見学会』を開催し、9名の方が参加されました。

「いずみの園」では以前より職員向けに、各事業所を見学する『いずみの園見学ツアー』を行って来ました。今回この見学ツアーを外部の方を対象としてアレンジし、「いずみの園」の名称だけではなく、実際に見学して知ってもらうため、『いずみの園ぐるっと見学会』を初めて企画しました。

当日は、特別養護老人ホームいずみの園ヨハネ館、ケアマンシヨン聖愛ホーム、デイサービスふれんど館、中央サポートセンター、福祉の里センターサマリア館、寄り合いセンターの各事業所を約1時間30分かけて見学し、その後いずみの園本部へ戻り、作業療法士による腰痛予防体操を行いました。

参加された方からは「とてもわかり易かったです」「次回も見学会をお願いします」など、とても好評でした。

(総務部・経営企画室)



腰痛予防体操の様子



見学の様子

広報誌⑥

児童クラブピーター・ポール「思い出のアルバム」

「児童クラブピーター・ポール」では、年に2回春と夏、保護者の方向けに児童の写真を載せた「思い出のアルバム」を作成し、日ごろの活動の様子をお伝えしています。子ども達の1年間の成長がよく分ると、大変好評をいただいております。



広報誌⑦

「マリアガーデンだより」

事業所内保育施設「マリアガーデン」では、毎月1回「マリアガーデンだより」を作り、園内ネットワークの掲示板に掲載しています。その月ごとの活動や今後の予定、園児たちの様子など、保護者だけでなく職員へも伝えられています。



シリーズ

園内の広報誌

パワーの源、ふれんど館



在宅サービス事業部
デイサービスセンターふれんど館

主任 小松 告代

「デイサービスセンターふれんど館」は、1988年（昭和63年）1月より大分県第一号のデイサービスセンターとして事業を開始しています。この度、建物の老朽化にともない2016年9月18日に同敷地内にある建物へ移転をいたしました。



リハビリ、機能訓練の様子

太陽の光が燦々と入る明るい室内環境に加え休憩室も完備していますので、必要時は静かな環境の中でゆっくりと過ごすことができそうです。皆様からは「前より明るくなったし、ゆっくり休める場所もある」「気持ちが悪くなった」とのお言葉をいただいています。

また、11月より職員の制服もピンク柄と新しくなりました。明るい環境の中、まるでピンクの花が咲いている様な雰囲気となり、ますます元氣ハツラツの場所となりました。

「ふれんど館」は軽度の方から重度の方までご利用になっていますが、皆様より「ここに来て職員と話せば元氣をもらえます。パワーの源だ」とのご意見を頂いています。是非一度、職員やご利用者のパワーあふれる姿を見に来てください。お待ちしております。



ティータイムを楽しまれるご利用者の皆様

また、11月より職員の制服もピンク柄と新しくなりました。明るい環境の中、まるでピンクの花が咲いている様な雰囲気となり、ますます元氣ハツラツの場所となりました。

「いずみの園」における防犯の取り組みについて



特養事業部 相談課
課長 田中 伸治



会議中の様子

2016年7月26日未明に神奈川県相模原市にある障がい者福祉施設で19名が死亡、26名が重軽傷を負う痛ましい事件がありました。

この事件を受け、多くのご利用者が生活をされる「いずみの園」においても、今後の施設の対応を協議していくために「防犯措置委員会」を設置しました。

委員会では、各事業所が現在行っている防犯に関する取り組み、それぞれのご利用者や施設の設備、地域の特性に合わせ想定される事案について協議を行いました。

また、各事業所で設置している防犯グッズなどを確認し、今後の対応として、日常から行えるチェックリストを作成しました。

さまざまなケースを想定しなければなりません。が、チェックリストを活用し、利用者、家族、職員が安心安全な生活が送れるように、地域の方とも協力しながら防犯に努めていきたいと考えています。

「障害者生活支援センター エマオ」について



共生サービス事業部 相談支援課
主任 西 晃平

「障害者生活支援センターエマオ」は2002年10月以来、中津市から相談支援の委託を受け、障がいをお持ちの方がお住まいの地域で暮らして行くために、様々な支援に取り組んでいます。

主な事業内容としては、①障がい福祉に関する情報提供、②障がいサービスを利用するための計画作成（計画相談）、③各機関・団体と協力し就労生活の支援（就労支援）、④居住サポートや、福祉機器などの情報提供（地域生活支援）、⑤施設・病院から地域生活への支援（地域移行・定着等支援）などが挙げられます。職員は、相談支援専門員、社会福祉士、介護支援専門員などが常勤し、日々のご相談等に対応しています。



相談支援の様子

また、「エマオ」では中津市が設置を検討していた「中津市障がい者等基幹相談支援センター」委託についての応募に向けて、4月から部内で準備班を結成し、半年間検討を行い、10月に企画提案会に参加、2017年度から「中津市障がい者等基幹相談支援センター」として市から委託候補者として選定されました。

この「基幹相談支援センター」で取り組む事業は、①基本相談支援事業・相談支援体制強化や必要な障がいサービス促進、②権利擁護に関する事業、③障害者虐待防止法に規定する事業、④障害者差別解消法に規定する事業などが挙げられます。

開所まであと4か月ですが、円滑な事業の開始となるよう準備を進めて参ります。

園内の花、木を探索

「いずみの園」の敷地内にはたくさんの花や木が植樹されています。その花、木をシリーズで紹介いたします。

● ツバキ (椿)

椿はツバキ科ツバキ属の常緑樹です。1年中青々と生い茂った葉の隙間から、冬になると赤やピンク、白色などの花が咲き誇る、まさしく日本の冬を代表する花木のひとつです。



その花は「山茶花(サザンカ)」とよく似ていますが、花の散り方、開き方など、細かく違いがあるようです。

椿と日本人の関わりは古く、数多くの文芸作品や美術、音楽作品の中にその名が登場していることから、昔から日本人の暮らしに深く関わってきた花であるということが分かります。

「いずみの園」の敷地内にも多く植樹されており、寒空の下、その鮮やかな花の色は、私たちの暮らしに明るい彩りを添えてくれています。

聖書のことば・人の言葉



堤 健生

「上を向いて歩こう 涙がこぼれないように 思い出す春の日 一人ぼっちの夜... 幸せは雲の上に 幸せは空の上に...」

金曜の午後3時から特養で礼拝を行っています。初めは歌いながら讃美歌312番「いつくしみ深き」等を歌いますが、終わりに歌いたい歌をリクエストして頂いて歌っています。

炭坑節あり、藤山一郎あり何でも歌います。もう皆さんこの時が一番うれしそうです。誰でも青春の懐かしい歌がありますね。前記の坂本九さんで有名な「スキヤキソング」はかなり広い世代の方に人気があります。

坂本九さんの歌は失恋の歌だそうです。これとよく似た讃美歌があります。讃美歌2編1番です。「このころを高くあげよう。主のみ声にしがたい。ただ主のみを見上げて。こころを高くあげよう」今年も救い主ご降誕の時、星を見上げて歩みます。



フライングディスクで「ナイスショット!」

第23回県北ハーマニーフェスティバルに参加しました

11月5日(土) 10:00から、中津市内にある「ダイハツ九州アリーナ」にて、「第23回県北ハーマニーフェスティバル」が開催されました。今年の中津市内の高齢者施設、児童養護施設、障がい者施設等14施設の入所・利用者281名が参加され、当「いずみの園」からも特養のご入所者6名と「ワークセンターシャローム」のご利用者9名及び11名の職員が参加し、各競技に汗を流しました。

午前中はサプライズレース、運命競争、玉入れ、綱引きの競技と、催し物として「中津市三線愛好会」や「ZENKAI太鼓「和」」の披露がありました。午後からはお楽しみ会や「和」×ゲーム等のレクリエーションが行われ、たくさんのお景品も用意されており、ご利用者の皆様より「楽しかった」「来年も参加したい」という言葉も聞かれました。「来年も他の施設の方との交流もできる良い機会となりました。また、来年も楽しみにしています。」

(特養事業部 相談課)



『ZENKAI 太鼓「和」』の演奏



稲刈りの様子①

今年、収穫量約2,580kg・86袋の米ができました。昨年よりもやや少ない収穫量でしたが、「ひのひかり」1等米を作ることができました。地域・近隣施設の方や当法人職員に毎年、購入して頂いています。今後とも、「シャローム米」をよろしくお願います。(共生サービス事業部 就労支援事業課)

「シャローム」農園で米(ひのひかり)の「稲刈り」を行いました。

「シャローム」の就労継続B型事業として、2015年6月から、「シャローム」が借用している田んぼ(6反5ヶ所)に点在して、米づくりをしています。春に田植えをして、秋に稲刈りをするのが米作りの流れです。「シャローム」は、6,073平方メートルの田んぼを借用し、米づくり(ひのひかり)に今年で2回目のチャレンジです。

10月12日(水)、利用者と職員あわせて8名が、「稲刈り」を行い、無事に収穫できました。稲刈りは、①コンバインで刈り取りと脱穀をしながら稲わらを刻んでまき散らす、②コンバインに貯まったモミを軽トラのコンテナに移して運び、コンベアで乾燥機に入れ込み、③籾摺り機でモミを摺って玄米にするのが工程です。



稲刈りの様子②

編/集/後/記

はや12月、1年で最もせわしく感じられる時期が到来した。12月の年末の挨拶に「年の瀬も迫ってきている」という言葉がある。この年の瀬の「瀬」を辞書で調べると、「川の流れの急なところ。また、海水の流れ。潮流」などの意味があり、船で通るのが困難な場所を指しているとのことだ。昔の人は現金ではなくツケ払いがほとんどで、お金が入った時にそれまでの分をまとめて払うのが普通だったらしい。そのため、年内には未払いであるものを清算し、またさらなる状態を新年を迎えたいが、ツケを払ってお金が無くなる年が越せなくなるという切羽詰まった気持ちで、この「瀬」で昔の人は表現したのだ。

今どき代金のツケを年の暮に一括して支払うことは稀であるが、溜まった年納金、ツケ、清算し、余裕を持った年の瀬にしたいものだ。

(末)

ハロウィンパーティー

総務部 マリアガーデン 前田 直美

10月31日、事業所内保育施設「マリアガーデン」でハロウィンパーティーを開催しました。今年も個性溢れる仮装で子どもたちもドキドキワクワク。



本部事務所にて

特養事業部から順に各部署を元氣よく周り、「お菓子をくれないとイタズラしちゃうぞ!」と言うと、皆さんも「これは大変!」と準備していたお菓子を1人ずつに手渡ししてくれました。ご利用者様との交流にもすつかり慣れ、握手をしたり、お話をしたりと楽しい時間を過ごすことが出来ました。

部屋に戻ってから、皆さんから頂いたお菓子を見て嬉しそうなお子様も達。どれから食べようかな?とニコニコしながら袋の中をのぞいていました。

これからも世世代代交流を通じ、優しい心・思いやりを育てていきたいと思えます。

創立記念感謝祭 第18回いずみの園フェスタにご来場ありがとうございました。

いずみの園だより



今年もたくさんの方にお越し頂きました



もちつきの様子



小笠原古流茶会の様子

10月15日(土) 10:00から第18回「創立記念感謝祭 いずみの園フェスタ」が「いずみの園」の敷地内で行われました。
朝から天候にも恵まれ、当日は約3,000人を超えるお客様にご来場いただきました。
特設ステージでは、地元の吹奏楽団の演奏や、よさこい踊りなど様々な楽しい催しものが行われ、毎年多くのお客様にご好評を頂いているパズルコーナーも、大変な賑わいでした。
また、会場では屋台コーナー、餅つきコーナーもあり、予定した14時すぎに大盛況のうちに終了することができました。
来場いただいた方々及び170名にもぼるボランティアの方々など、今年も本当に多くの地域の皆様にご協力をいただいで、「いずみの園フェスタ」を開催することができました。これからも地域と共に、福祉の総合化を目指して、職員一同努力していきたいと思えます。
ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。
(いずみの園フェスタ実行委員会)



中津市吹奏楽団による演奏

クリスマス祝会

特養事業部 介護課 中尾 祐治



「特別養護老人ホームいずみの園」では毎年12月にイエス・キリストの誕生日を祝い、「クリスマス祝会」を開催しています。
祝会はチャプレンによるクリスマスメッセージで始まり、その後、参加者全員で讃美歌を歌います。
クリスマスの飾り付けが施された会場の中央ステージでは、職員による出し物が披露され、その中でも毎年好評なのがハンドベルの演奏です。目の前で演奏される音色に耳を傾け、皆さんゆっくりとした時間を過ごされています。
テーブルの上にはたくさん料理が用意され、「どれから食べようか」「1日じゃ食べきれないね」と笑顔で召し上がられています。
閉会后、会場を後にするご利用者の方々からは、「楽しかったよ」「来年もたのむね」と声をかけられ「また来年も喜んでいただける会にしよう」という思いになります。
今年も12月19日にクリスマス祝会を開催します。楽しく心温まる会になるよう職員一同力を合わせて頑張りたいと思います。(写真は昨年のクリスマス祝会のものです)

「特別養護老人ホームいずみの園」では毎年12月にイエス・キリストの誕生日を祝い、「クリスマス祝会」を開催しています。
祝会はチャプレンによるクリスマスメッセージで始まり、その後、参加者全員で讃美歌を歌います。
クリスマスの飾り付けが施された会場の中央ステージでは、職員による出し物が披露され、その中でも毎年好評なのがハンドベルの演奏です。目の前で演奏される音色に耳を傾け、皆さんゆっくりとした時間を過ごされています。
テーブルの上にはたくさん料理が用意され、「どれから食べようか」「1日じゃ食べきれないね」と笑顔で召し上がられています。
閉会后、会場を後にするご利用者の方々からは、「楽しかったよ」「来年もたのむね」と声をかけられ「また来年も喜んでいただける会にしよう」という思いになります。
今年も12月19日にクリスマス祝会を開催します。楽しく心温まる会になるよう職員一同力を合わせて頑張りたいと思います。(写真は昨年のクリスマス祝会のものです)



ハンドベルクラブ「RESOUND」



会場の様子

障がい福祉サービス事業紹介リーフレットを作成しました

「中津総合ケアセンターいずみの園」では、2002年の相談事業を始まりとして今日に至るまで、障がい者に対する事業を拡大してきましたが、いずみの園の障がい福祉の歴史は浅く、また地域への認知度も未だ低い状態にあります。そのため、より多くの方に「いずみの園」の障がい福祉サービスについて知ってもらうことを目的として、この度「紹介リーフレット」を作成しました。
「いずみの園」内の各障がいサービス事業所に置いてあります。また、いずみの園のホームページの「お知らせ」欄にも掲載していますので、どうぞご覧ください。
ホームページ: <http://www.izuminono.jp/>
(経営企画室)



受講生募集

いずみの園では各種研修講座を行っています。

詳しくはお問い合わせください

介護職員初任者研修

どなたでも受講できます。

- 次回開催: 2017年1月10日(火) ~ 3月17日(金)
- 募集定員: 40名
- 受講費用: 60,000円 (他テキスト代等)

介護職員実務者研修

介護福祉士国家試験受験に必須の研修です。

- 次回開催: 2017年2月1日(水) ~ 約4カ月間
- 募集定員: 40名
- 受講費用: 取得資格状況により受講費用が異なります。

喀痰吸引等研修

介護職員が喀痰吸引等を行うための研修です。

- 次回開催: 2017年1月12日(木) ~ 3月23日(木)
- 募集定員: 30名
- 受講費用: 60,000円 (他テキスト代等)



申し込み・お問い合わせ先
人材育成・研修センター
TEL: 0979-23-1616